

絵を見て、まちがいを10カ所見つけてね。
正解者のうち、抽選で5人に図書カードをプレゼントします。



応募方法

はがきまたはファクスに①答え(どちらかの絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想などを書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66-1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり3月号に掲載します。

締切 1月15日(日)

11月号当選者

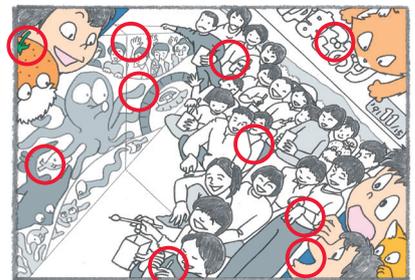
尾崎 智子(西浦町)
杉浦 和代(形原町)
杉本友之介(新井町)
藤田 絹代(三谷町)
堀 たつ江(大塚町)



画:とうふねこ座
市川雅子

(50音順・敬称略)

11月号の答え



竹島水族館のお正月

2025年は巳年。蒲郡でへびを見かけることは少ないですが、へびに似ている生き物なら竹島水族館にいますよ。そうです、ウツボです。竹島水族館にはウツボの水槽があり、狭い中にウツボがひしめき合うその気持ち悪さが逆に人気を集めています。

今日はそんなウツボたちのもとを訪れる動物たちが。

「あけましておめでどう！みかん仙人からお年玉を預かってきたニャー！」

「あけましておめでどう！お年玉ありがどう！お年玉で大好物のタコが買えるかな。この水族館は貧乏でなかなか食べさせてもらえないからなあ…」

向こうからはカワウソがお供え物の鏡餅を持ってこちらにやって来ます。

「鏡餅はどこに置いたらいいかなあ。あ、その台の上に置こうと。あ、チンアナゴくんたちもいるじゃないか。君たちもちよつとへびに似ているね。」

「そうだね。僕たちはいつも顔しか出てないから分からないかもしれないけど、本当はへびみたいに長いんだよね！」

運が良ければ、チンアナゴの全身が見られることもあるそうです。お正月は、竹島水族館で運試ししてみませんか？